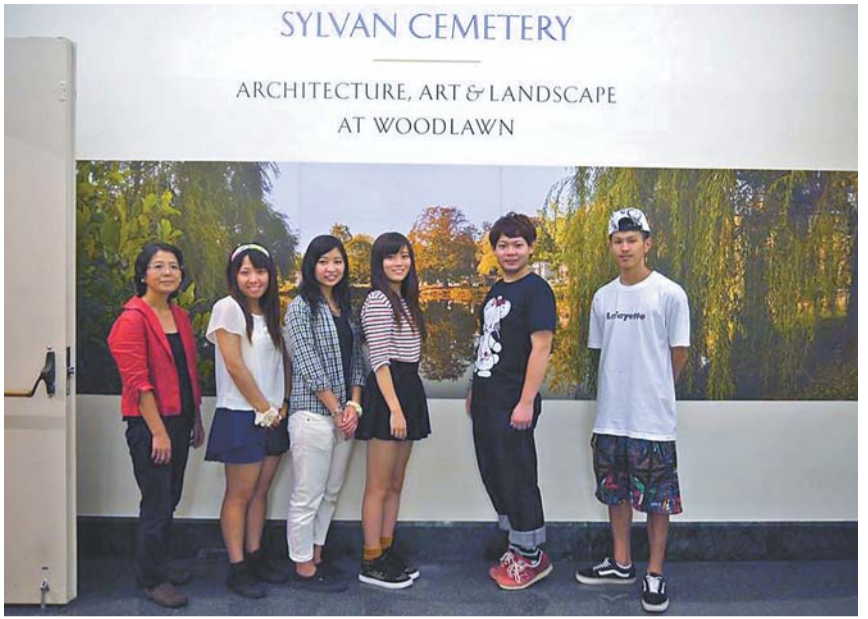


び、文献やデータだけではない実際のニューヨークを肌で感じてきた。参加したゼミ生に体験記を寄せてもらった。参加者は新実樹さん、浦田愛美さん、相場翔太さん、名執康平さん、中山英里さん。



▲ コロンビア大学の展示場で左から黒沢教授、浦田、新、中山、相場、名執のみなさん
有名な墓地。その霊園の貴重な資料(19520世紀の墓地記録)がコロンビア大学に寄贈されました。
学内に墓地の設計図、オーナメント、彫刻、ティファニー制作のステンドグラスなどが展示されています。黒沢先生の解説をお聞きし、霊園の特徴や歴史について学びました。

▲ 野口英世と、科学者であり国際人であった高峰讓吉の墓を確認、手を合わせてきました。
4日目は降は私たちが学生だけでニューヨークのさまざまな場所を訪れました。5番街の洗練されたおしゃれな雰囲気、近くから見る丘巻の「自由の女神」、「グラウンド・ゼロ」の重々しさなど、現地ではわからないことばかり。
毎日が刺激に満ちたニューヨーク体験は、大学生活の中でも鮮明に記憶に残る素晴らしいものでした。(黒沢ゼミ)



▲ 野口英世と、科学者であり国際人であった高峰讓吉の墓を確認、手を合わせてきました。
4日目は降は私たちが学生だけでニューヨークのさまざまな場所を訪れました。5番街の洗練されたおしゃれな雰囲気、近くから見る丘巻の「自由の女神」、

まるで彫刻美術館

ウッドローン霊園

現地到着翌日の早朝、ニューヨーク滞在中の黒沢先生と合流しコロンビア大学へと向かいました。目的はウッドローン霊園設立150周年を記念した特別展示「森の霊園—ウッドローンの建築・アート・景観」を見るためです。ウッドローン霊園はニューヨークの

大学で展示されていた彫刻と同じモデルの彫刻(結婚の記念碑)を偶然発見し、驚きまな様式のモニュメントが印象的で、まるで彫刻美術館を訪れているようでした。調査中、

最後にこの地で眠る二人の偉大な日本人—黄熱病に倒れた医学者



▲ グランドセントラル駅



▲ 観光中にフェリーから見た自由の女神像



▲ かぶりつきで落語を楽しむ

座を沸かせる若手噺家が出演

平日の夜は19時以降の開演がほとんど。神保町交差点のすぐ前のビルにあり、仕事帰りにも立ち寄りやすい。チケットは1500〜3000円(以下すべて税込)。火曜の定例会(1800円)、OB会は2000円)にはワンドリンクが付く。※らくごカフェ—東京都千代田区神田神保町2-3 神田古書センター5階 ☎03・6268・9818 (平日12〜18時) 不定休 落語会開催時はソフトドリンク300円、アルコール500円。お笑いや講演などの公演もある。年内は27日まで、新年は1月7日から営業。

「ここが好きで落語家を応援するうちに顔見知りが増えて、ファン同士の交流も楽しみになるんですね。一人で来られる女性も多いですよ(渡邊さん)。
カフェ営業中「落語、やってないんですか」とドアを押したのは女性の二人連れ。「休みが合ったので、確か落語が聴けるカフェがあったと思いつきました」。落語は空振りに終わったが、店内のグッズや資料に釘付けで「落語は今年、お店の雰囲気は気に入りました」とコーヒーを味わった。
ひいきの落語家の会に毎回のよう駆けつけ、精進を見守るのが若手を応援する醍醐味。売れてくると「おれの手を離れた」と一抹の寂しさを胸に、新たな有望株に目をかけるファンもいる。
平日の夜は19時以降の開演がほとんど。神保町交差点のすぐ前のビルにあり、仕事帰りにも立ち寄りやすい。チケットは1500〜3000円(以下すべて税込)。火曜の定例会(1800円)、OB会は2000円)にはワンドリンクが付く。※らくごカフェ—東京都千代田区神田神保町2-3 神田古書センター5階 ☎03・6268・9818 (平日12〜18時) 不定休 落語会開催時はソフトドリンク300円、アルコール500円。お笑いや講演などの公演もある。年内は27日まで、新年は1月7日から営業。

らくごカフェ



▲ 落語に関する書物も多い